

# 群馬菱の実会だより

## 年頭に当たって

群馬菱の実会  
会長 増田 三郎



新年明けまして、おめでとうございます。  
皆様ご健勝にて良い年をお迎えのこととお喜び申し上げます。  
昨年1年を振り返りますと、悪いことばかりがニュースとなり目立ちましたが、若いスポーツ選手の活躍があり、ホットする明るいニュースでした。景気も良くなりそうな気配ですので、この1年が良い年となるよう願っております。年末には寒波があり厳しい冬となっています。会員皆様がご自愛の上、ますますのご健勝を祈念申しあげます。

今年で「群馬菱の実会」は20周年を迎えました。1986年(昭和61年)に設立され、先輩の皆さんのご尽力により、今日の群馬菱の実会に至っております。当初数十名だった会員も、現在350人を越えました。この会を末永く維持継続しなければなりません。今後も会員皆様のご協力とご支援をお願いいたします。今年の総会および懇親会でお互いに祝い合いましょう。

パソコン愛好会の皆さんに「群馬菱の実会だより」のホームページを作成していただきました。内容もますます充実しております。子供さんやお孫さんを通じてでも、是非インターネットで見てください。

## 群馬菱の実会の更なる発展を!

三菱電機労働組合群馬支部  
執行委員長 対比地 弘志

菱の実会の皆様、あけましておめでとうございます。  
日頃より、弊支部の活動に対しましてご支援ご協力を賜り御礼申し上げます。

さて、三菱電機全体の業績は、売上・利益共に好調で、通期計画も上方修正されており、株価の状況からも伺える通り三菱電機への評価が高まっていることは喜ばしいことだと思います。これらについては、米国・中国をはじめとした世界経済の景況や設備投資需要に支えられた内需拡大などにより、産業メカトロニクス、電子デバイス、そして馬電が属する家電部門などが損益に貢献できたものであります。

馬電においては、昨年4月より給湯機専門製作所としてスタートしました。昨年8月には市場対応型の少人数多本数ラインという新たな生産方式でのライン構築やお客様をお迎えするゲストホールもオール電化ショールームとして全面改装しました。特に、エコキュートと呼ばれているヒートポンプ式給湯機の急速な伸びなどから、現場はフル操業状態で対応しております。是非、大きな変革状況の馬電をご覧頂きたいと思います。なお、菱の実会の皆様には1ヶ月の電気代がたった約千円の経済的なエコキュートを新築・改築の際ご検討頂ければと思いますし、知人・友人の方にもご紹介頂きたくお願い致します。

最後に、群馬菱の実会の益々の発展と皆様方のご健康とご多幸をお祈り申し上げご挨拶とさせて頂きます。



新会員紹介（会員番号375） 本多 勝幸さん（平成16年3月31日退職）  
〒370-3515 群馬県群馬郡群馬町塚田117 電話 027-373-2695  
馬電OBならびにOGの皆さん、こんにちは。

この度、「菱の実会」に入会させていただくことになりました、  
本多です。ちょっとした手違いで定年退職から1年余り過ぎてしま  
い、周回遅れの入会になりましたが、よろしくお願ひいたします。

昭和41年（1966年）に馬電配属になって以来、平成11年12月  
31日までの33年間在籍させていただき、先輩の皆さんには大変お  
世話になりました。その後、平成12年（2000年）1月1日付けで（財）  
家電製品協会に出向となり、平成16年3月31日に定年となりましたが、その後も協会の嘱  
託として1年契約の人生を送っております。



馬電在籍中は車で片道（37km）1時間、そして現在は、新幹線を利用してドア to ドアで  
片道（115km）2時間の通勤人生を送っておりますが、この間の移動距離は、1ヶ月に20日稼働として約89万km、地球を22周（1周は約4万km）したことになります。

しかし、その長旅もゴール目前となり、もう少しすれば「菱の実会」の催しにも参加できる  
ようになると思いつますので、その折りは、よろしくお願ひいたします。  
皆様にお会いできる日を楽しみにしております。

## 『世界遺産熊野古道と熊野三山・高野山』の旅No.2 太田市 増田三郎

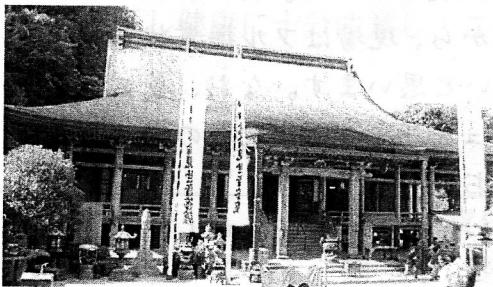
偶然にも、この勝浦港で、今は亡き恩師山田十一先生ご夫妻と遭遇し「ストで那智の滝が  
見られないでタクシーで行くが一緒に行かないか」と誘われ、便乗させてもらった思い出  
があります。先生は極度の近眼で、奥さんと妻が両脇に付いて、滝の石段を歩きました。忘  
れられない思い出です。133メートルの豪快な滝は同じでしたが、先生もすでに亡くなり、  
私達も随分年を重ねてしまいました。次は那智大社と青岸渡寺参拝でした。



那智大社

みやげ物店が並ぶ473の石段を上りきると道が  
左右に分かれ、右に上ると青岸渡寺、左に行くと那  
智大社に着く。南向きの朱塗りの拝殿の後ろに獨  
特な熊野権現造の社殿5棟と、その脇に8神を合せ祭  
る八社殿が東向きに立つ。1581年（天正9年）、  
織田信長によって焼き討ちにあうが、豊臣秀吉が再  
建した。

ここは473段の石段があり、参加者全員が苦戦をした所です。全員が無事に踏破しました。6つの朱塗りの社殿が並び「蟻の熊野詣」と言われる程、全国から多くの人が参拝に訪

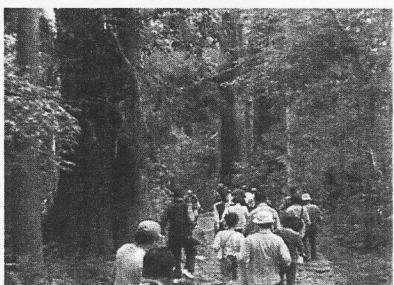


青岸渡寺

那智大社と並んでたたずむ。西国33カ所第一番札  
所。裸形上人が開いたといわれ、熊野詣での重要拠点  
として栄えた。織田信長の兵火で消失するが、豊臣秀  
吉が再建。本堂と那智滝の中間に建つ高さ25mの朱  
塗りの三重塔は1972年（昭和47年）に再建され、  
三層の展望台からは那智の滝の全貌が望める。

れたそうです。すぐ隣が青岸渡寺で西国三十三力所の一番札所です。

参拝後473段を下り、木々に囲まれた石畳の熊野古道を下りました。約30分の道のりでした。登って来る人がいましたが、かなり苦労している様子、下りで良かった。静かな下りも世間話をしながら和やかに、下りきった所の「那智ねぼけ堂」で昼食をいただきました。



熊野古道



熊野古道大門坂登り口



那智ねぼけ堂

世界遺産に登録された、熊野三山に通じる信仰の道・熊野古道。上皇や貴族から始まり、武士や庶民に至るまで多くの人々が訪れ、「蟻の熊野詣」ともよばれた。静寂に包まれた古道は、熊野の神と遭遇するタイムトンネルでもある。紀伊路、伊勢路のほかに数箇所のルートがある。

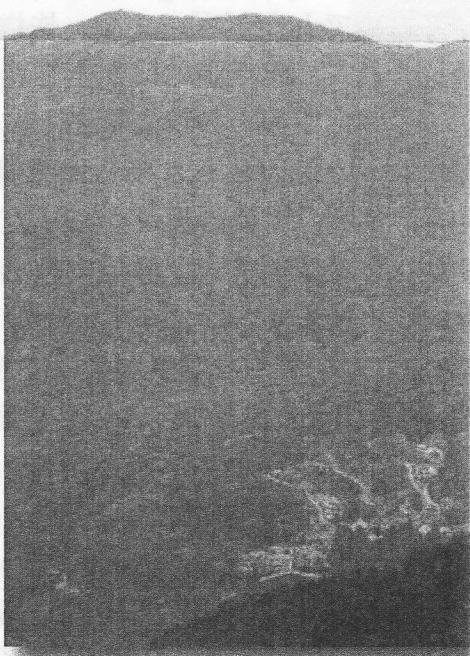
2日目最後の参拝は、熊野本宮大社で158段の石段でした。上りきると古色蒼然とした社殿が並ぶ境内に入ります。速玉大社と那智大社は朱塗りの社殿でしたが、本宮大社は白木社殿となっています。昔は熊野川の中洲にあったそうですが、洪水に遭い流失した、中四社と下四社を現在地に作ったそうです。

参拝後、今夜は宿坊に宿泊と聞いたのでみやげ店で般若湯を調達、通行料が無料となった高野竜神スカイラインを経由して、高野山に向かいました。登るにつれ、眼下は千尋の谷、高所恐怖症で足がすくみました。高野山に到着し、軒先スレスレの狭い道を通って、世界遺産となった宿坊「金剛三昧院」に到着、2日目の走行距離は約200キロでした。

(つづく)



熊野本宮大社

竜神スカイライン  
から下を覗く

一の鳥居をくぐり、158段もの石段を登ると境内に出る。夫須美大神などを祭る四つの社殿があり、伝承によると社殿創建は今から2020年ほど前の崇神天皇の時代。

## ◇おしらせ◇

## 1. 1月の囲碁愛好会

◎例会：1月16日(月) 9:30～ ◎会場：赤城俱楽部

## 2. 1月の麻雀会

◎日時：1月27日(金) 9:30～17:00 ◎会場：赤城俱楽部

◎申込：1月24日(火)迄、下山 國夫(0277-78-3204) ◎会費：2,000円

## 3. 1月のグラウンドゴルフ例会

◎日時：1月23日(月) 9:30～ ◎会場：利根グラウンドゴルフ場

## 4. 2月のパソコンサークル

◎日時：2月6日(月) 13:30～15:30

◎会場：労組事務所(ご希望の方はご自由にご参加ください)

## 5. 2月のカラオケ月例会

◎日時：2月6日(月) 17:30～20:30

◎会場：カラオケ本舗「まねきねこ」太田市安養寺町27-3 TEL:0276-52-3450

◎申込：愛好会役員(長嶺 元さん:TEL 0276-38-0685) 1月25日(水)まで

## 6. 次回の編集委員会・幹事会(会場：組合会議室)

◎編集委員会 1月23日(月) 11:30～

◎幹事会 2月 6日(月) 16:00～

なお、都合の悪い場合は事務局まで、忘れずに連絡をお願い致します。

## 編集後記

◎明けましておめでとうございます。皆様にはご家族お揃いで良いお年をお迎えの事と、お慶び申し上げます。昨年中は何かとご指導を賜り心より厚くお礼を申し上げます。本年もよろしくご指導、ご協力のほどよろしくお願ひ申し上げます。

◎昨年は異常気象の遠因ともされる地球温暖化による、米南部超大型ハリケーン、パキスタン大地震等、台風、地震の被災国日本だけに、自然災害への不安が多い暗いことばかりでした。明るい話ではスポーツ界で女性の大活躍が目立ちました。さて本年はどんな年になるか期待しております。

◎この冬は近年にない猛烈な寒気がやってきて、風邪をひく人が目だっています、うがい、手洗いを励行し健康に十分注意し、この冬の寒さをのりきりましょう。

(村岡記)

発行

発行責任者 増田 三郎

三菱電機労働組合群馬支部

2006-1-10 No.153

編集「菱の実会だより」編集委員会

TEL 0276-52-3874

<http://www18.ocn.ne.jp/~hishimig/>